



さとたん通信

編集：鈴村

2025年度 さとたん総会開催

新しい視点やアイデアで、さらに魅力ある里山に！

2025年度は、さとたん会員も増え52人でスタートし、5月18日に横須賀里山田んぼ倶楽部総会が市総合福祉会館で開催された。会員26人が出席し、活動報告や計画案、会計及び監査報告・活動予算案、役員選任等全ての議案が可決された。

来賓の三浦半島生物多様性保全・横須賀市議会委員の天白牧夫氏からは、「11月3日にしようぶ園で初開催の環境イベント（アースデイ横須賀）にさとたんも出店してほしい」との誘いがあった。イベント当日は、現時点で20点以上の出店予定があるそうだ。

その提案を受けて永島副会長は、「会員募集ブースなどを設けることもできる。他にも何か良いアイデアがあれば教えてほしい」と呼びかけた。

新年度役員8人承認の後に植森会長は、「新しい視点やアイデアを取

り入れ、さらに充実した活動を展開して、里山をより魅力ある場にしていきたい」と話した。

議案承認後の意見交換では、個々の技能のスキルアップについてや、さとたん独自の会員募集、市からの委託準備金などの使い道等の話題が上がった。何か思い付いたことがあれば声を出してほしい」と植森会長は会場の会員に呼びかけていた。



「魅力ある里山体験を！」
昨年5月に初めて開催した田植え前の親子田んぼでのろんこ遊び

絶滅危惧種 ツルギキョウ 咲く里山

2020年9月に、沢山池の植物を調査している郡司さんから、新しく開かれた田んぼのあせ道の脇で、ツルギキョウの花が咲いていることを教えてもらった。



キキョウ科は雄蕊先熟
この花は雌性期の花
2021.09.25

葉は心形でキキョウ科の多年生・つる性植物のツルギキョウは、絶滅危惧種に指定されていて、神奈川県では1994年に、初めて平作3丁目で採集された。現在、大楠山周辺でしか自生していない希少な植物である。

沢山池のあせ道で見つけたツルギキョウは、発見の翌年は発芽の多さに驚かさされたものの、年を追うごとに消えていき、発見からまもなく5年になる今年は、2カ所

に5〜6株ほど出ているだけだ。



心形のツルギキョウの葉
発芽は4月頃

発芽の時期と草刈りによる適切な環境整備が関係していることは分かっていたが、保全していくことは簡単ではない。今後の推移を見守っていき（宮原）



2021年11月1日の実生10〜11月頃に結実する

今期の南田んぼに期待

田植え準備期より前から、さとたんメンバーが泥にまみれながら「今季こそは！」と取り組んできたのが水路の確保だ。

南田んぼは、昨年度は塩ビ管で溜池から水を落としたり、溜池が干上がった、最下段の田んぼまで水が届かないことが多かった。

しかし、今年度は水路が広がったこともあり、田植えから1カ月経った今も水がたたえられている姿が見られ、収穫も期待できそうだ。



5月24日 苦勞が実り、今年水が豊富な南田んぼの田植え準備の様子

5段田んぼも水源の整備や水路確保の苦勞が実り、荻野小5年生が田植えをした下段の田んぼの稲も順調に育っている。

活動中のさとたんメンバーの声も

以前も紹介したユーチューブチャンネル「柴大こむぎとボクの三浦半島」の6月20日に公開された回で、2分30秒付近から約7分間ほど、里山を歩く柴大こむぎの姿が映っている。

南田んぼの水路を広げていた頃で、「今日の里山は、田植えの準備で大忙し」とコメントが入っ



月2回の風呂呂契約を後悔する柴大こむぎと里山の仲間たち【あるじのステップ】

ている。後半では、メンバー数人の声が聞かれる。